

誘導モーター試験

概要

M-TEST5.0ソフトウェアとヒステリシスダイナモメータを用いたトルク-回転数特性試験システムです。

構成品

- HD-700
- DSP6001
- M-TEST5.0
- 誘導モーター

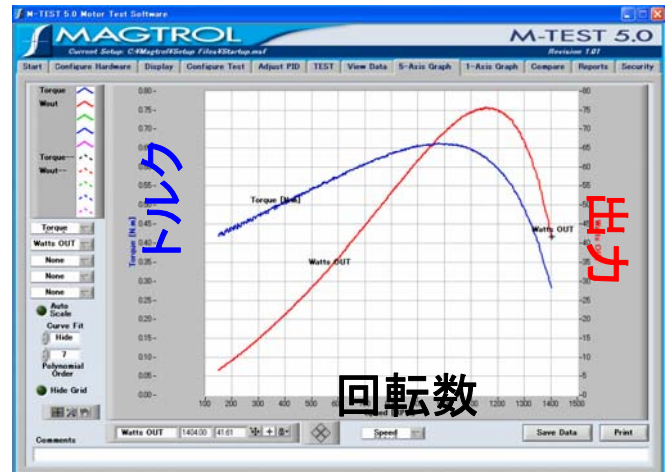
システムの特徴

DSP6001に内蔵されたPID回転数制御機能により、モーターの回転数を 1500 rpm から 150 rpm までスイープします。最速10ミリ秒間隔でトルクと回転数のデータを取得してグラフに表示します。

回転数を制御することにより、トルクの変曲点を的確に捉えることが可能です。

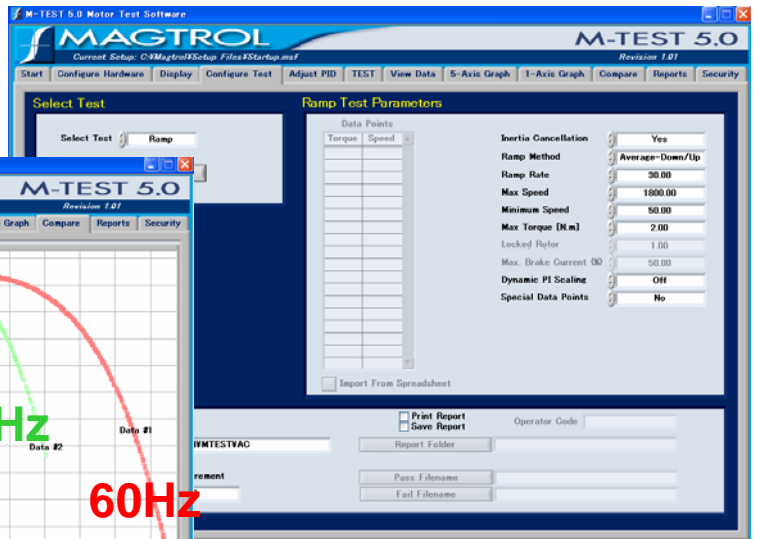
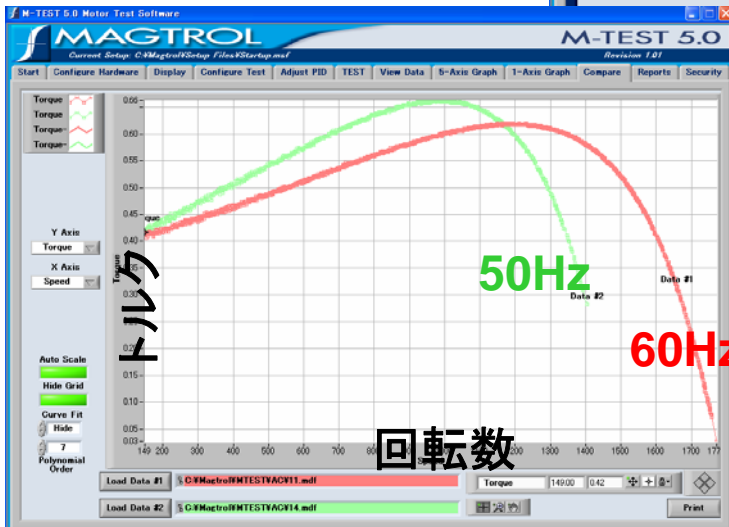
また、イナーシャの影響を除去するために、ランプ測定機能では回転数の増加・減少の両方を測定して平均化処理をすることができます。

さらに、オプションでパワーメータや温度センサを接続し、システムの拡張が可能です。



誘導モーター試験

50Hzと60Hzの比較



ランプ測定条件の設定

- システム仕様

HD-700 : 最大トルク 3.0Nm、ドラッグトルク14.0Nmm、分解能10.0Nmm、
最大回転数 15,000rpm、連続試験最大電力(5分) 150W(700W)

被測定モーター : 単相100V、60W出力、定格回転数 約1200rpm